

事務事業評価シート 平成 28 年度事後評価・決算

平成 30 年 2 月 22 日時点

事務事業名		コード	15300 延長保育事業ほか2事業	予算科目	会計	款	項	目	事業種別
基本施策		7	子育て支援の充実	根拠法令	児童福祉法、旭市立保育所時間外保育実施要綱	3	3	1	☒ 主な事業
施策の展開		15	結婚・子育て環境の整備	戦略事業	73 時間外(延長)保育事業				☐ 国土強靱化地域計画
施策の展開				戦略事業					☐ 新市建設計画
									☐ 定住自立圏構想
									☐ 主要事業

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない	
☒ 単年度繰返 ☒ 平成 18 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	保護者の就労形態の多様化に伴い、児童の保育時間を延長することで、安心して子育てができる環境を整備し、児童の福祉の向上を図る。 【保育標準時間認定の場合】 ・公立保育所（中央第一保育所）、公設民営（干潟保育所）は、午後6時15分から午後7時15分までの時間で保育を実施。 【保育短時間認定の場合】 ・公立保育所（その他）は、短時間保育利用の方が8時間を超えて保育を希望する場合に午後4時00分から午後6時15分までの時間で保育を実施。 私立保育園等については、延長保育の実施に対し補助金の交付を行う。	
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等
就労形態が多様化し、通常時間外の保育の需要が増えてきたため。	就労形態の多様化、核家族化により、延長保育の利用は、公立保育所では微増している。私立保育園は平成21年度が11,906人であり、年度により増減がある。 平成27年度から子ども子育て新法により短時間利用の方に対する時間外保育も実施することとなった。	平成23年に市内全保育所で実施したアンケートによると、午後7時までの延長保育を適当と思う方が 84.3%、午後7時を超えての延長保育を適当と思う方が 12.1%であった。

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(28年度の決算)		単位:千円	
1.共済費	108:臨時職員社会保険料		
2.賃金	1,397:臨時職員賃金		
3.負担金及び交付金	5,460:旭市地域子ども・子育て支援事業費補助金		
4.委託料	500:指定管理料(千歳保育所)		
② 特定財源の内訳(28年度の決算)		単位:千円	
1.国庫支出金	2,114:子ども・子育て支援交付金		
2.都道府県支出金	1,819:千葉県子ども・子育て支援補助金		
3.地方債	0:		
4.その他	130:		

事業費	費目内訳	1. 共済費	千円	25年度(決算)	0	26年度(決算)	0	27年度(決算)	45	28年度(決算)	108	29年度(予算)	250
		2. 賃金	千円	1,366	1,365	1,359	1,397	1,479					
		3. 負担金及び交付金	千円	27,750	27,881	5,219	5,460	6,241					
		4. 委託料	千円	500	500	500	500	500					
			千円										
	財源	事業費計 (A)	千円	29,616	29,746	7,123	7,465	8,470					
		1. 国庫支出金	千円			1,739	2,114	2,080					
		2. 都道府県支出金	千円	18,500	18,587	1,739	1,819	2,080					
		3. 地方債	千円										
		4. その他	千円	135	220	168	130	210					
	5. 一般財源	千円	10,981	10,939	3,477	3,402	4,100						

前年度増減理由	主に私立教育・保育施設において新規での事業の実施があったことや補助金の補助基準額が改定されたため増となった。											
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

従事職員数	常時	19人	最大	人	×	日	=	延べ	0人
-------	----	-----	----	---	---	---	---	----	----

(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	③ 活動指標名	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
ア	28年度実績(28年度に行った主な活動) 公立保育所…利用申請受付、児童保育、料金徴収 公設民営保育所…指定管理料支払 私立教育・保育施設…補助金交付	公立保育所の延長保育の延べ利用児童数	人	2,091	2,710	2,196	1,910	2,108
		私立教育・保育施設の延長保育の延べ利用児童数	人	10,122	15,308	10,532	8,216	8,512
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標名	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
ア	延長保育を実施している公立保育所及び私立保育園の児童の保護者 安心して働くことができる。	希望者が必要な時に延長保育を利用できた割合	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
イ	児童 保護者による保育ができない時に保育を受けることができる。							

(4) 事務事業優先度評価の結果

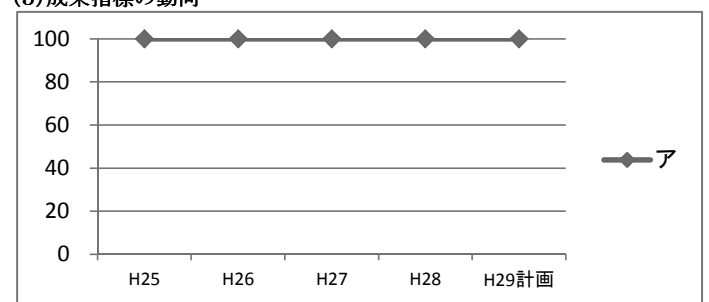
①成果優先度評価結果

		成果向上余地		
		かなりある	ある程度ある	ほとんどない
施策貢献度	大きい			
	普通		⑤	
	小さい			

②コスト削減優先度評価結果

		コスト比率		
		下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
評価結果	①			
	②			
	③			
	④⑤	(4)		
	⑥			
	⑦⑧			
	⑨			

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況													
	☐ 完了 ☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難													
	【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)													
	② 成果の状況													
	成果指標ア	成果指標イ	成果指標のタイプ	☐ 数値増＝成果向上	☐ 向上	☒ 横ばい	☐ 低下	比較	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
成果指標イ				☐ 向上	☐ 横ばい	☐ 低下	25年度		26年度	27年度	28年度	29計画		
評価内容	【コメント】 (低下の場合、その理由)													
	成果動向													
	ア	イ						0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
評価内容	③ 今年度取組事項 (29年度に取り組む主な事項について記載)													
	時期	内容			今後の方向性	☐ 拡大 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 廃止・休止	☐ 見直し ☐ その他()						